

第4回 広域関東圏ナノテクビジネス交流会

ナノテクノロジーは、材料、資源・エネルギー、エレクトロニクスなど、多様かつ広範な分野で幅広い応用が可能である重要な科学技術です。これらの技術を幅広く活用することで、高度な技術を有する自社製品の開発が可能となり、中小企業にとっても大きなビジネスチャンスを得ることが可能となります。

今回の交流会では、大手ナノテク関連素材メーカーの目から見たナノテクビジネスの研究開発から事業化までの課題についてご講演いただくとともに、優れた技術力を有する広域関東圏管内のナノテク中小企業による技術プレゼンテーションを行い、企業間、企業と研究機関等のビジネスマッチングの機会を提供するものです。皆様の御来場をお待ち申し上げます。

日時 平成17年12月8日(木)午後2時から6時15分まで(交換会を含む)

場所 東京中小企業投資育成棟 8階「大会議室」 渋谷区渋谷3-29-22 (渋谷駅新南口より徒歩3分)

主催後援 主催：関東経済産業局ノ(財)広域関東圏産業活性化センター
後援：ナノテクノロジービジネス推進協議会

内容 参加無料(定員150名、先着順、なお、交換会は有料となります。)

14:05～ 15:00	基調講演「ナノテクを用いた先端材料の開発について」 講演者 株式会社東レ 取締役研究本部長・研究開発企画部長 阿部 晃一 氏 ナノテク関連素材を開発・生産し、商品化を行っているメーカーの目から見たナノテクビジネスの研究開発から事業化までの課題などについて、該社のケーススタディもご紹介しながらご講演いただきます。 会場：8階大会議室
15:10～ 16:55	技術プレゼンテーション 第一分科会「計測・材料系ナノテク技術が拓くビジネスチャンス」 / 司会：関東経済産業局 発表企業 ・ナノフロンティア株式会社 代表取締役社長 津田 薫 氏 CNTを容易に短時間で分散、切断する技術とその応用開発でナノテクノロジー分野に貢献。 ・株式会社マイクロフェーズ 代表取締役社長 太田 慶新 氏 燃料電池用Pt担持体としてナノカーボンを合成し、導電性・通気性・耐食性の優れた白金触媒を開発製品化。 ・株式会社カンタム14 代表取締役 嶋田 壽一 氏 ナノシリコンの低熱伝導性、微細加工性、量産性を生かした高機能分子計測用材料、素子の提供。 ・株式会社ベテル ハドソン研究所 所長 佐伯 潤一 氏 ナノ薄膜と微少領域の熱浸透率をレーザーによる加熱と検出で非接触測定可能な熱物性顕微鏡を開発製品化。 コーディネータ：(財)長野テクノ財団 知的クラスター事業実施本部 事業総括 秋山 昌之 氏 ナノテクを中心に新製品を生み出す長野・上田地域知的クラスターで、豊富な経験、ネットワークにより開発をリード。 会場：8階大会議室
15:10～ 16:55	技術プレゼンテーション 第二分科会「加工・デバイス系ナノテク技術が拓くビジネスチャンス」 / 司会：GIAC 発表企業 ・株式会社クリスタルコート 専務取締役 佐藤 幸治 氏 水溶液製膜法により、防曇性に優れた硬質かつ緻密な20nmのセラミックナノフィルムを製品化。 ・株式会社ルス・コム 代表取締役 小島 袈裟雄 氏 マイクロチューブの独創的 pursuit と応用分野開発を通してオンリーワン企業を目指す。 ・シグマテック株式会社 代表取締役 市川 宗次 氏 小型薄型軽量設計でパソコンによる制御が容易なナノメートル位置決め装置を開発。 ・新世代加工システム(株) 取締役 吉川 研一 氏 E L I D研削によるナノレベルの面粗度が出せる鏡面加工技術の実用化と卓上機の開発商品化。 コーディネータ：早稲田大学ナノ理工学研究機構機構長 大泊 巖 氏 半導体デバイスの表面・界面物性や単一イオン照射効果とその応用で最先端ナノテクノロジー研究をリード。 会場：7階セミナールーム
17:15～ 18:15	交換会 (参加費1名1,000円を当日、御来場の際に8階受付にてお支払いください。) 技術プレゼンテーション企業や大企業・研究機関等との個別商談コーナー有り。 会場：2階交換会場

下欄の申込書にご記入のうえ、11月25日(金)までにFAXによりお申し込みください。

プログラム・参加申込書は、関東経済局HP <http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/nanotech/20051208nano.html>よりダウンロードできます) 受講票は発行いたしません。満席の場合のみご連絡いたします。

申込先：関東経済産業局 技術企画課 広域関東圏ナノテクビジネス交流会 担当：小谷野、高木あて
〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心1-1 さいたま新都心合同庁舎1号館
TEL：048-600-0236(直通) FAX：048-601-1287

関東経済産業局 技術企画課 広域関東圏ナノテクビジネス交流会担当 行き
(FAX：048-601-1287)「第4回 広域関東圏ナノテクビジネス交流会」参加申込書

企業名・機関名					
住所	〒				
TEL			FAX		
HP	http://				
事業概要					
参加者	職名			氏名	
	E-mail				
	希望分科会(どちらかを囲んでください)	第一分科会 ・ 第二分科会		交換会(どちらかを囲んでください)	参加 ・ 不参加
	職名			氏名	
	E-mail				
	希望分科会(どちらかを囲んでください)	第一分科会 ・ 第二分科会		交換会(どちらかを囲んでください)	参加 ・ 不参加

当日、記載頂いた内容を基に登録名簿を作成して配布いたします。(個人情報特定されるものは記載致しません)

恐れいりますが、下記のアンケートにご協力ください。

1. 今回の交流会開催を何でお知りになりましたか？

経済産業局・支援機関等からの開催案内メール 新聞記事
その他()

2. 参加の目的は何ですか？

講演を聴くため 投資先・融資先を探すため
その他()

3. 過去3回の交流会であなたご自身(貴社)にとって有益となったことは、ありましたか。

(例: 参加企業と共同研究を行うキッカケとなった など)

[]

4. 今後、参加者とプレゼン企業とのマッチングを促進するために実施すべき企画がございましたら、何でもご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございます。